

春日集落の取組について



鹿児島県農政部農村振興課
むらづくり推進係
農業土木技師 上拂 京平

1

平戸市の概要

- 人口約28,000人（R6.2.1 現在）
- 5つの有人島と九州本土の一部からなる。
- 古くから国際貿易港として栄えた。



2

春日集落について

○24世帯、人口57人（R6.2.1 現在）

○平戸島の西海岸、平戸市最高峰「安満岳」の麓に位置し、壮大な棚田が広がる集落

○2018年7月に世界文化遺産に登録された「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産の1つ



3



長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産

- キリスト教が禁じられる中で、ひそかに信仰を続けた潜伏キリシタンの伝統の証となる遺産群。
- 長崎県と熊本県に所在する12の集落等で構成される。

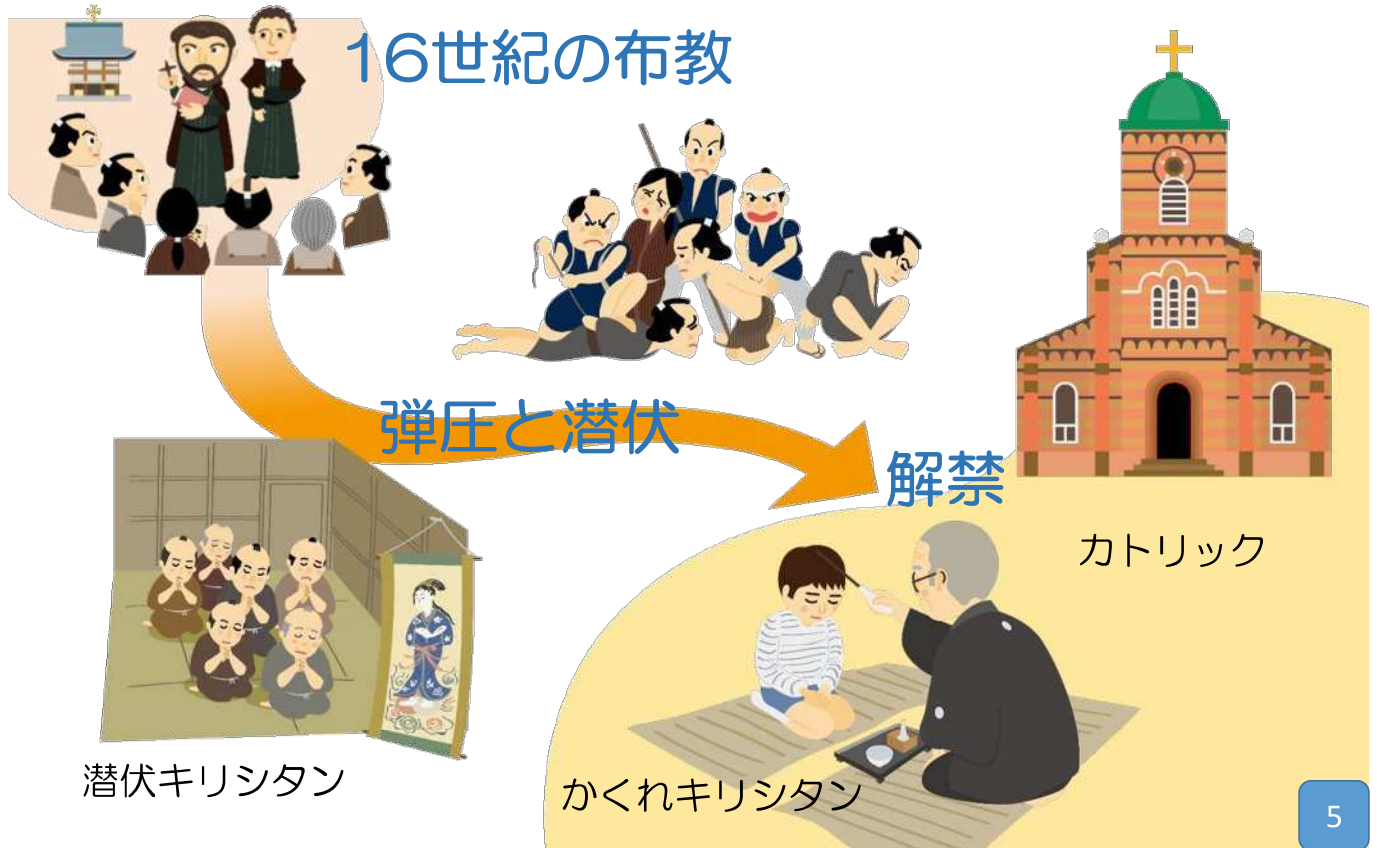


4



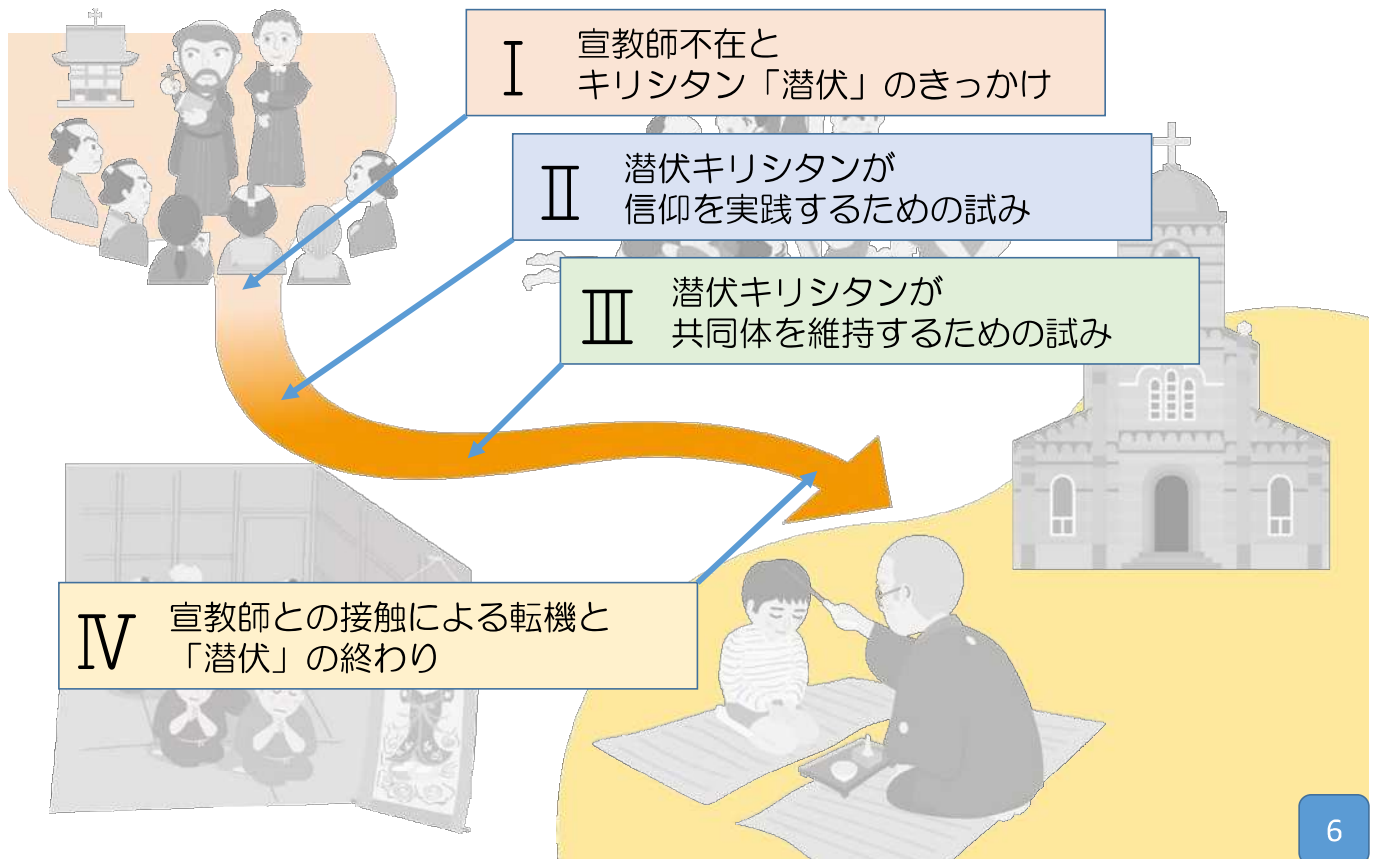
長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産

世界遺産の価値は潜伏時代



長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産

潜伏時代の歴史を4つに区分



潜伏時代の歴史を4つに区分

I ①原城跡

II ②③平戸の聖地と集落、④崎津集落、
⑤出津集落、⑥大野集落

III ⑦黒島の集落、⑧野崎島の集落跡、
⑨頭ヶ島の集落、⑩久賀島の集落

IV ⑪奈留島の江上集落、
⑫大浦天主堂

7

平戸の聖地と集落



②春日集落と安満岳



③中江ノ島

8

平戸の聖地と集落 春日集落と安満岳

- 春日集落は、禁教期に組織的にキリシタン信仰を継続
- 神仏や安満岳、川の神等身近な自然を崇敬する信仰形態



9

平戸の聖地と集落 中江ノ島

- 江戸時代初期に、キリシタンの処刑が行われた殉教地
- 岩場からしみ出す水を採取して、
聖水とする「お水取り」を行う聖地



10

平戸の聖地と集落 春日集落と安満岳・中江ノ島

○見た目には分かりにくいですが、歴史的な価値をその土地に刻んでいる



住居イメージ



納戸神

11

春日集落の取組みについて 安満の里春日講

○平成23年4月に春日町まちづくり協議会「安満の里春日講」が発足
→平成22年2月22日に春日集落を含む「平戸島の文化的景観」が、
長崎県ではじめて国の重要文化的景観に選定されたことをきっかけ

○平成23年末には、春日集落の全世帯が会員となる



安満の里春日講発足の様子

12

集落の価値を再発見

- 大学の先生の協力のもと集落の全戸にアンケートを配布し、回収したアンケートを基にヒアリングを実施
- 地域の自然、歴史、文化、産業など春日集落ならではの価値を自分たちで再発見



勉強会の実施



季節暦ワークショップの実施



現地視察の実施

フェノロジーカレンダー（季節暦）

- 春日の魅力の発掘と発信のために作成された冊子
- 集落での暮らしや食材、年中行事などを四季ごとに落とし込んだカレンダーや、春日の宝の位置情報を写真付きで掲載した散策マップなど記載



棚田を生かしたイベント

○棚田ウォークや田植え・稲刈り体験などを実施し、春日集落の魅力を市内外へ発信



棚田ウォーク



稲刈り体験



田植え体験



市外の小学生の受入れ（泥んこ遊び）

集落の保全活動

○春日の魅力を発信したことで、来訪者が増加

○地元の人が率先して、景観を維持するための保全活動を実施



空き家の活用

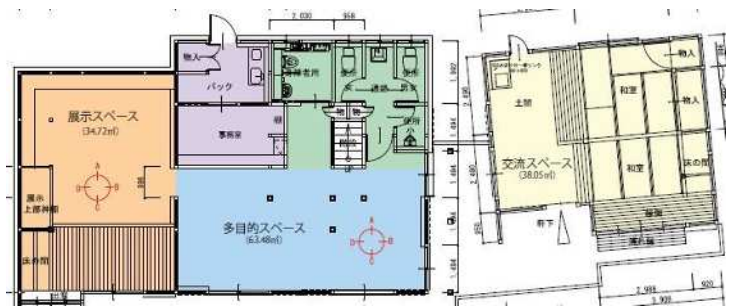
春日集落案内所「かたりな」の整備

○国の重要文化的景観「平戸島の文化的景観」のガイダンス施設、春日集落の世界遺産の価値を一般来訪者に伝えるため施設

○春日集落内の空き家を改修・整備した施設

○展示・多目的棟と交流棟からなる

○春日の住民を案内スタッフ・語り部として雇用



17



18

春日集落案内所「かたりな」

棚田米や加工品の販売

- 春日の棚田米や棚田米を使用した郷土菓子の商品開発・販売
- 地元酒蔵が春日の棚田米を使った商品開発・販売



○棚田米が商品や加工品として消費される状況ができたことで、棚田の耕作意欲が高まり、結果として棚田の景観が維持される仕組みできた。



春日の棚田米



かんころ餅



フィランド（日本酒）

春日集落案内所「かたりな」

棚田米や加工品の売上

○売上をまちづくり活動に回すことで、より効果的・持続的に活動が可能に
売店利益を春日に還元

○指定管理者との協定により、売店利益の20%は、春日地区、「安満の里春日講」に還元され、地区の環境保全や生活利便性向上に役立つような仕組み



公民館の絨毯を新調、豊部屋の蛍光灯をLED化

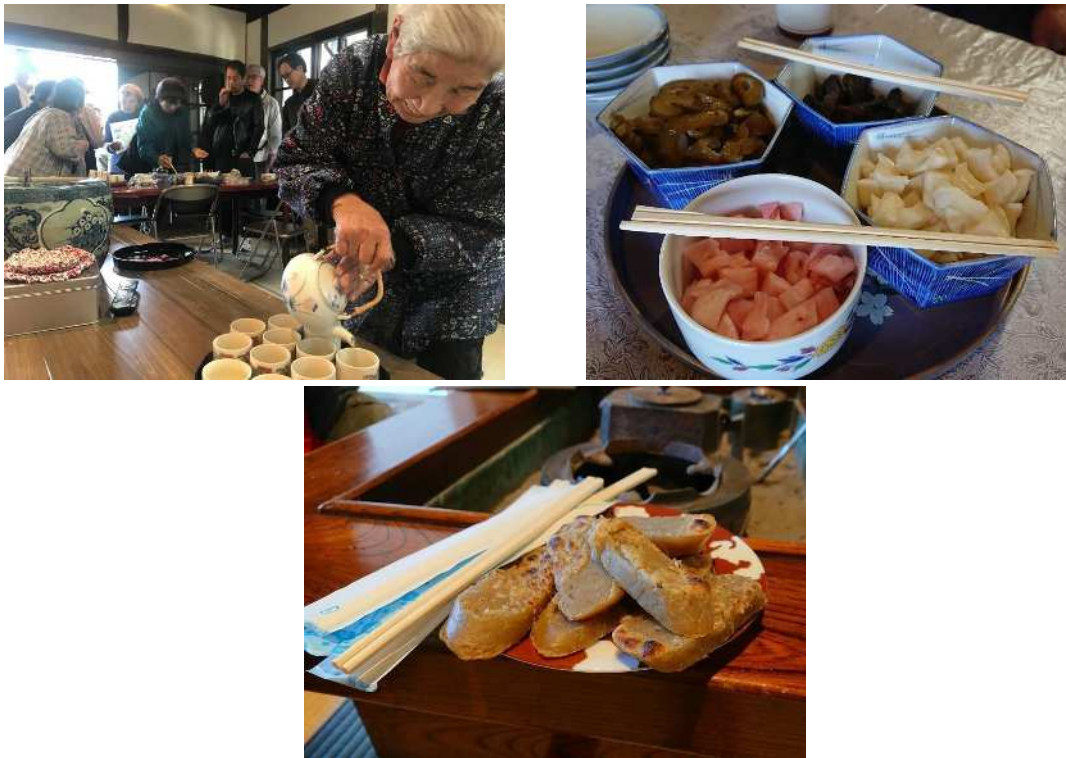


お堂様の屋根の修理

春日集落案内所「かたりな」

地域住民との交流

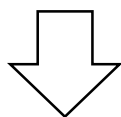
- 地元の高齢者の活躍の場
- 住民との何気ない交流は、来訪者の思い出に



21

春日集落案内所「かたりな」

- 春日集落の住民が運営
- 来訪者との交流（集落の案内や交流棟でのおもてなし）
- 集落の文化的景観や潜伏キリシタンの歴史に感動
- 手作り漬物などを美味しいと言ってもらえること
- 棚田米や棚田米を使用した商品を購入



住民の誇り・生きがい

22

世界遺産 平戸・春日集落案内所

郵便はがき

2018年9月3日

長崎県 平戸市春日町166

春日集落案内所

かたりひの旨肴

神奈川県藤沢市 本町2-3-35 林 かのり

えんはらは、元日の田代に上司さまも私連入し訂四石をお喜しお世話なりありかとお喜しした貴重なお話し、自販車も聖地 棚田めぐりにいいたお茶に漬物も全う観に出す。本当においしかったです。寺田賢一郎様生産の精米も江も他品も、もって決ま買ったこれば良かったです。まあで（自用）なので購入亦法ありません。ありがとうございました。

Strolls by the Sea ENODEN

地元女性5人 素朴な接待

漬物、ラッキョウ、かんころなどサービス 最高齢は92歳



おもてなしスタッフの(前住が) 増田、山口、山口、寺田さん、増田さん、(後列左から) 山口、山口、寺田さん

世界遺産 平戸・春日集落案内所

おもてなしスタッフに新メンバー

世界文化遺産に登録された「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」平戸の聖地、集落がある平戸の春日集落の案内所「かたりひ」で、観光客をもてなすスタッフが交代した。2018年の案内所開設時から担当してきた80〜90代の4人が引退、代わりに新人4人が加わり、新体制で観光客を迎えている。

新たにスタッフに加わったのは、増田賢一郎(81)▽元田子(84)▽山口善作(84)▽山田美津子(84)さん。接客経験が豊富で、慣れた手つきで接客する。山田さんは、接客経験が豊富で、慣れた手つきで接客する。山田さんは、接客経験が豊富で、慣れた手つきで接客する。

引退の4人と入れ替わり



ほとんどの腕前だ。「助けた人に落では見かけなくなるとい元気でね、また来るかな」との姿を目にした時は、と声をかけてもらった。集ううれしくなる」と語る。



ご清聴ありがとうございました。